

47.12.27



48.1.1



48.1.6



1月2日の

8測点の平均は0.01 P P m

イオウ酸化物の削減計画の一環として、昭和44年から年末年始の汚染状況をは握するため、調査を行なってきました。今回の調査で47年12月26日から48年1月7日までの資料がまとまりましたのでお知らせします。

年末年始 のイオウ酸化物の 測定結果

大気汚染のうち、イオウ酸化物については、総排出量を減少させ、47年4月に市公害対策審議会から答申された望ましい環境目標値0.03 P P mを達成するため、いろいろな行政指導を行なっています。そのためには、どのくらいの排出量にしなければならないか試算しなければなりません。そこで、過去の測定資料、工場の排出量、重油の使用量などの細かい解析を行ない、現在、市内で許される

最大排出量を試算しています。

この一環として、昭和44年からほとんどの企業が操業を停止する年末年始の状況を調査しています。今回も47年12月26日から48年1月7日まで、大手66工場を対象に調査しました。

※大手工場＝市内には法律の対象事業所は200ありますが、5トン以上のボイラーをもっている66工場の重油使用量が全体の約90%を占めています。

三ガ日の最低は

0.002 P P m 富士保健所

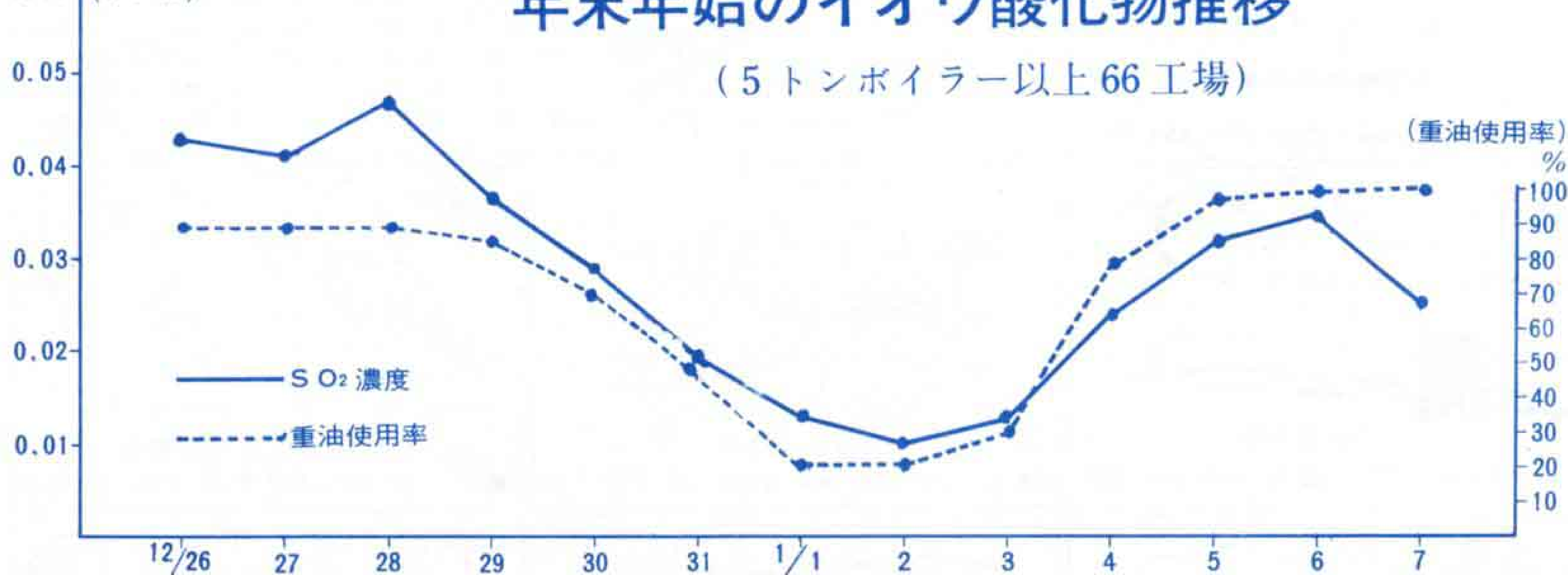
調査結果をみると常時使用量(3899ト

ン)を100とした場合、1月2日は約20% (780トン)の使用量で汚染も0.015 P P mを下回る数値が測定されています。

なお今回の調査で特に目立つのは、いつも高濃度が出現する富士保健所が、正月三ケ日は最高が0.005 P P m、最低は0.002 P P m、とひと桁違いの低濃度が測定されたことです。この時期における市内の平均は0.013 P P mくらいでした。これをみても市内の大気がいかに汚染されているかがわかります。

期間中の重油使用量、汚染状況などくわしくは下図のとおりですが、これらの資料は住みよい環境づくりの基礎資料にしていきます。

SO₂ 濃度
(P P m)



年 月 日	12/26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7
SO ₂ 濃度平均値 市内8測点(PPm)	0.043	0.041	0.044	0.034	0.027	0.019	0.013	0.010	0.012	0.023	0.031	0.034	0.025
重油使用量(通常) (トン)	3.899	3.899	3.899	3.764	3.055	2.056	777	780	1.266	3.091	3.801	3.896	3.899
使用率(%)	100	100	100	96.5	78.4	52.7	20.0	20.0	33.1	79.3	97.5	99.7	100

※1日の重油使用量3.899トンを100%とする